

「ジャパントウン」 事業報告

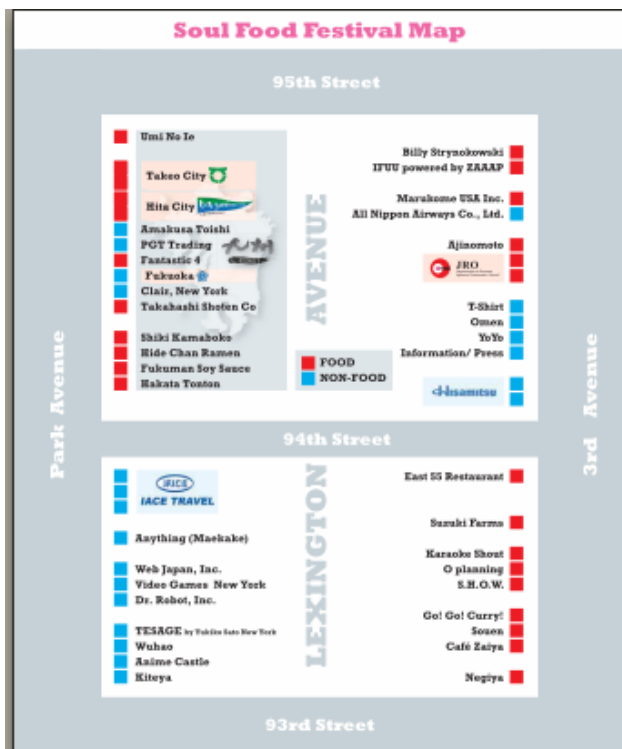
- 日時 2010年9月26日(日) 11時～18時
(会場準備8時～、10時～18時まで通行規制)
- 場所 ニューヨーク市マンハッタン レキシントン通り93丁目から95丁目
- 来場者数 10万人(主催者発表による)
- クレアの関わり
クレア確保によるテント内での地方特産品等の展示・販売(希望自治体を公募)
クレアテントでの地方自治体観光PR、ニューヨーク管内各県人会紹介、クレア紹介

「ジャパントウン」は、ストリートフェア(歩行者天国にした路上に屋台が並ぶイベント)の一部で、アメリカにおける日本食文化の発展と促進、日本文化の発信を目指し、日本の物品販売やPRを行うイベントです。同イベントは昨年1度開催され(旧称:ジャパンストリートフェア)、今年は7月から毎月、9月まで3回開催されました。

今回の会場は、92Y Street Festival(92Yストリートフェスティバル)という家族連れで楽しめる毎年恒例の文化・芸術イベントに隣接していました。主会場となる92丁目ブロックは各国大使館のテントが並び、日本総領事館も国際交流基金と共催で日本紹介(鎧の試着体験と記念撮影)を行っていました。

ジャパントウンには毎回テーマがあり、今回は「ソウルフード(郷土料理)」でした。九州地方から自治体・企業合わせ11団体が出展し、レキシントン通りの片側にまとまりました。クレアニューヨーク事務所では、福岡県の加工調味料販売に対する支援を同ブロック内で行うとともに、クレアとしても情報テントも設営し、日本の自治体PR、ニューヨーク管内の各県人会紹介を行いました。





当日は、曇りの肌寒い天候ではありましたが、各種媒体（Facebook, Twitter, 日系・米系新聞等）で広報された効果もあり、午前 10 時過ぎ頃から通行人が各テントに立ち寄り始めました。調理食品（ラーメン、かまぼこ、豚料理など）販売テントでは、11 時頃から行列が並び、夕方終了時まで続きました。午後には売り切れ商品も出始め、16 時頃には完売というテントもあり、最終的には食品を取り扱うテント全てが完売となりました。



クリアテントでは、自治体観光PRとニューヨーク管内の県人会（クリアニューヨーク事務所が把握している約 20 団体）の紹介を行い、600 名近い来場者がありました。ニューヨーク事務所で保管している自治体観光パンフレット（19 自治体）をテント内の机に並べ配布しましたが、表紙が日本らしい風景のもの（城、寺院、花火など）、色遣いが鮮やかなものに人気がありました。パンフレットの大きさは、ポケット版、A4 版とも人気に大差ありませんでしたが、説明文が多いもの、多言語対応のパンフレットはなかなか手に取られなかった様子でした。

ジャパントウンのブースには、1 テントに机 1 つといす 2 脚、グリルか発電機（選択）が付いており、追加備品もレンタルで対応できます。出展者がアメリカで食品調理販売時に必要な資格も、主催者がカバーするため改めて取得する必要もありません。売上げの 20% を手数料として主催者へ支払わなければなりません。今回の出展テントには、試食の感想をアンケート調査したり、テント間で商品を共有（A 商品の調味料として B 商品を利用）するなどしており、大勢の外国人来場者（購買層）に対し市場調査を行い、商品の知名度を上げるのに効果的なイベントといえます。北米、特にニューヨークでの地方特産品の紹介手段、販路拡大手段の一つとして利用できるイベントだと感じました。